

令和8年5月21日
国土交通省中部地方整備局
新丸山ダム工事事務所

新丸山ダム初！！ ゲート設置工事がいよいよ始動

令和18年度の完成に向けてダム本体のコンクリート打設を進める中、ゲート設備の一部について工場製作が完了しました。

これを受け、令和8年5月下旬より、新丸山ダム初となるゲート設置工事を開始します。今回の工事では、令和9年度末までに4つのゲート設備を順次設置していきます。

これまでの工事経緯

- 令和3年12月 本体基礎掘削着手
- 令和7年3月 本体コンクリート打設開始
- 令和7年11月 定礎式

1. 据付期間 令和8年5月26日から令和10年3月31日（予定）
2. 場 所 新丸山ダム工事現場内（岐阜県加茂郡八百津町、可児郡御嵩町）



3. 配 布 先 美濃加茂市政記者クラブ、可児記者クラブ、恵那記者会
4. 解 禁 指定なし
5. その他

取材等を希望される記者の方は、下記メールアドレスまたは電話にてご連絡をお願いします。

【連絡先】 E-mail : cbr-shinmaru.koumu@mlit.go.jp

【問い合わせ先】

新丸山ダム工事事務所 副所長

しむむら なおや

下村 尚也

工務第二課長

みやき たかゆき

宮木 隆行

電 話 (0574) 43-2780 開庁時間 8:30 ~ 17:15

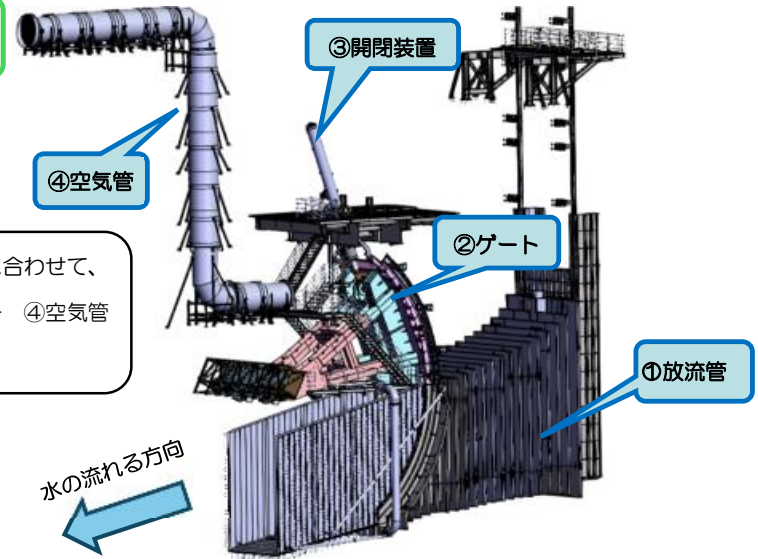
新丸山ダムゲート設置工事

設置位置



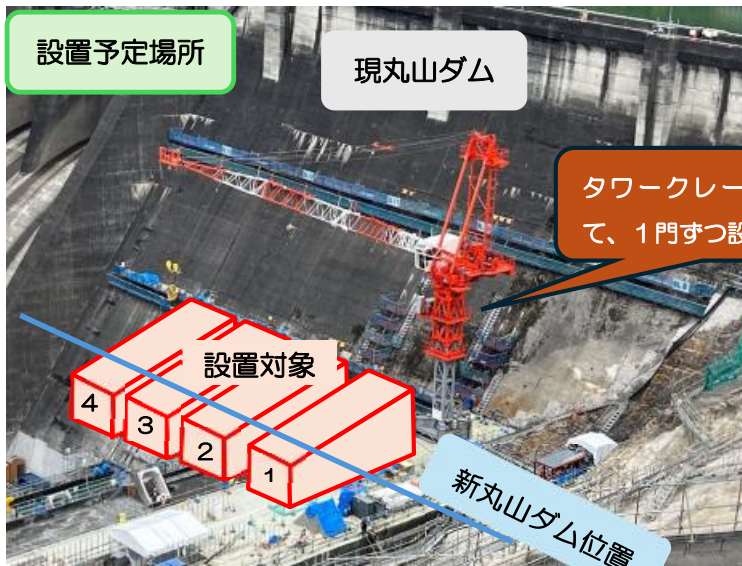
据付対象設備（ゲート、放流管等）

ゲート設備は、ダム本体のコンクリート打設に合わせて、
①放流管 → ②ゲート → ③開閉装置 → ④空気管
の順で設置していきます。



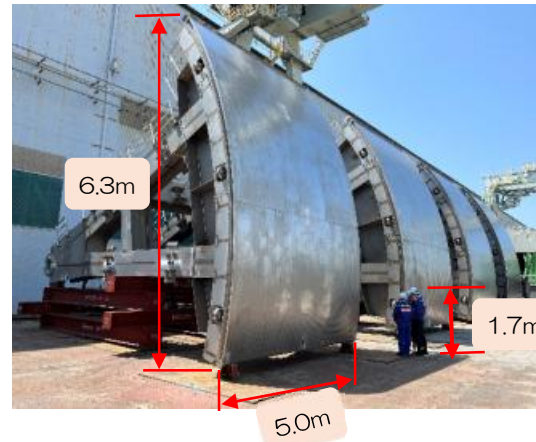
設置予定場所

現丸山ダム

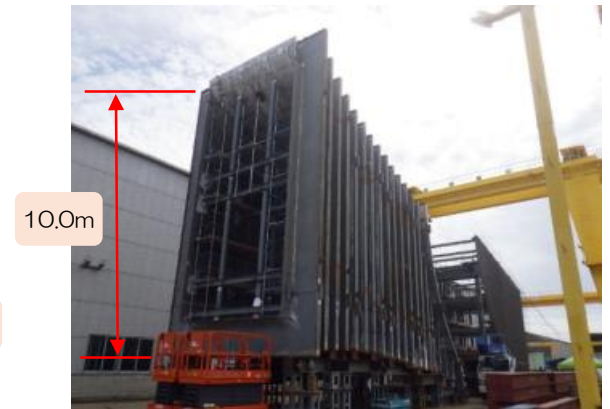


タワークレーンを使用して、1門ずつ設置します。

設置予定ゲート4門（工場組立）



設置予定放流管（工場組立）



このゲートに使用されている鋼材は、現丸山ダムゲートの鋼材と比べ約2倍の強度を持っています。軽量化することが可能となり、ゲートを動かす装置もコンパクトになり、コスト削減を図っています。